

平成28年度

# けやき学習指導案 (総合的な学習の時間)



○学 級 2年2組

○单元名 「働く大人に学ぶ」

『職場体験での質問を考える』

○指導者 橋浦 公一

**盛岡市立上田中学校**

## 第2学年 けやき学習（総合的な学習の時間）学習指導案

指導者 橋浦 公一

1 日時 平成28年7月1日(金) 公開授業① 第1校時

2 学級 上田中学校2年2組 男子17名 女子15名 計32名 南校舎3階2年2組教室

3 主題 「働く大人に学ぶ」

### 4 主題について

2学年に行う「けやき学習」は「職場体験学習」と「修学旅行自主研修の事前学習」である。「職場体験学習」では、働くということについて考える学習活動を通して、働く人の様々な思いや考え方を感じ取り、将来の働く自分の在り方や生き方についての考えを深めることを目標としている。学習指導要領との関連性については、第3の2(7)「職業や自己の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動が行われるようにすること。」を主と捉え、指導を進める。

生徒は、1学年では「職業調べ」を行い、自分の興味のある職業や、なりたい職業に必要な資質や知識について理解を深めた。2学年では、より社会を意識して実際の職場を体験することで、働くということについて理解を深める。

本単元では、働くことについて理解を深めるための自己課題を設定し、職場体験を通して「情報収集」を行い、学習レポートを作成することで自分の考えをまとめる。また、単元を見通した自己評価シートを活用し、本単元の学習を通して、働くことについての考え方がどう変容したか振り返らせる。これらの活動を行うにあたって、生徒の主體的な態度や仲間と協同する姿勢を大切にしながら取り組ませたい。

### 5 指導と評価の計画（別紙）

### 6 本時の目標

自分自身に関すること	自己課題の仮説に対する回答が得られるような質問を記述している。 〈生徒の記述例〉 私は「笑顔で接客するために行っていることはありますか。」という質問を考えました。なぜなら自己課題「来た人が満足できるように、どんな工夫をしているのか」における仮説「笑顔で接客する練習を徹底している」の検証ができると思ったからです。
------------	--

## 7 本時の指導構想

### (1) 本時のねらい

自己課題を追究するための質問を、自己課題に対する仮説から考えさせる。

### (2) 「論理の意識化を図る学習活動」に関わって

#### 【考えがいのある課題設定】

この単元の始めに自己課題を設定しているため、生徒はその自己課題に沿って学習を進めていく。本時の学習課題を「自己課題の解決にせまる質問は何か」と設定する。課題解決の基になるのは、職業調べ等で得た情報から考えた「自己課題に対する仮説」である。

#### 【「論理の思考型」を用いた言語活動】

2度目の自己決定の場面で、グループでの意見を参考にして質問を考え直す(6 質問の内容を再考する。)。その際、さまざまな理由付けが展開されると考えられる。他の教科や領域での思考型を意識した学習を基にし、多様な思考型を活用するよう促したい。特に、演繹的思考を用いて考えさせたい。

#### 【かかわり合い】

本時は2度のかかわり合いを設定する。

1度目は、自己課題の仮説に対する回答が得られるような質問となっているか話し合う(5 グループで質問の内容を交流する。)

2度目は、グループでのかかわり合いから自分の質問を何に決めたか発表する(7 全体で自己決定の内容を交流する。)。他のグループの意見を聞いて、自分達のグループでの話し合いの方向性は良かったのか、確認する機会にもしたい。

#### 【自己評価活動】

終末において自己評価活動を行う(8 自己評価を行う。)

かかわり合いを通して、自分の考え方について変容したこと、深まったことを考えさせたい。単元の学習活動を見通した自己評価シートを活用することで、意欲や態度育成にもつなげる。かかわり合いを通してどのように自分の考えに至ったのかにも着目させ、自己評価活動を行いたい。

8 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点	評価の視点	教材・ 教具等
導入 7分	1 前時の学習を振り返る。 2 本時の内容について確認する。 3 学習課題を把握する。	1 職業調べ等で得た情報をもとに、自己課題に対する仮説を立てたことを確認する。		
自己課題の解決にせまる質問は何か				
展開 35分	4 個人で質問を考える。 【自己決定①】 5 グループで質問の内容を交流する。 【かかわり合い①】 6 質問の内容を再考する。 【自己決定②】 7 全体で自己決定の内容について交流する。 【かかわり合い②】	4 仮説に基づいて、質問を一つだけ考えさせる。 5 それぞれの自己課題を追究する質問となっているか考えさせる。 6 理由とともに記述させる。 7 質問の内容が変わった生徒などの意見を取り上げ、全体で深めていく。	6 【自分自身に関すること】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自己課題の仮説に対する回答が得られるような質問を記述している。</div> <けやきノートへの記述>	・けやきノート  ・けやきノート
終末 8分	8 自己評価を行う。	8 自己評価シートに記述させる。		・自己評価シート
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             ・最初は何気なく考えた質問でしたが、グループの人達から意見をもらったことで、質問の内容を考え直すことができ、自己課題の解決に近づく質問になったと思います。           </div>				

指導と評価の計画

2 年 けやき		単元名 「働く大人に学ぶ」		総時間 32時間扱い	
学習指導要領との関連			単元の目標		
<p>第3の2</p> <p>(2) 問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。</p> <p>(5) 自然体験や職場体験活動、ボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。</p> <p>(7) 職業や自己の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動が行われるようにすること。</p>			<p>「働くということ」について考える学習活動を通して、職場体験学習から働く人の様々な思いや考えを感じ取り、将来の働く自分の在り方や生き方についての考えを深め、その成果を生活の中で生かそうとする。</p>		
学習方法		自分自身		他者や社会とのかかわり	
課題設定		表現省察		計画・実行	
<p>職場体験学習の意義を理解し、将来の自分の生き方を考えるために自分にとって価値ある課題を設定している。</p>		<p>相手意識をもって活動に粘り強く取り組み、目的に応じてわかりやすく表現している。</p>		<p>自己課題に対し、課題を解決するための計画を立て、計画を見直しながら実行している。</p>	
		将来展望		他者理解・協同	
		<p>体験を通して学んだ働く意義や職業人の考え方から、自分の在り方や生き方についての考えを深めることができる。</p>		<p>仲間と協同しながら、他者の良さも認め、自分自身を客観的に捉えている。</p>	
時	主な学習内容	評価規準		評価事例	
1	・職場体験オリエンテーションを行う	課題設定 将来の働く自分の在り方や生き方の考えを深めるために、これからの学習に意欲を持つことができている。		<p><b>6 職場体験での質問の内容を考える場面</b> 学習課題「自己課題の解決にせまる質問は何か」に対して、自己決定する場面。</p> <p>■生徒の記述例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>私は「笑顔で接客するために行っていることはありますか」という質問を考えました。なぜなら自己課題「来た人が満足できるように、どんな工夫をしているのか」における仮説「笑顔で接客する練習を徹底している」の検証ができると思ったからです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>私は「患者さんと接していて、働く力になることとは何ですか」という質問を考えました。なぜなら自己課題「働くことによるやりがいは何か」で仮説「患者さんの病状が良くなっていくこと」の検証ができると思ったからです。</p> </div> </div> <p>自己課題の仮説に対する回答が得られるような質問を記述している。</p>	
2	・働きがいを追究する自己課題を設定する 【課題の設定】	課題設定 体験することで学べることは何かを考え、働くことに関するやりがいを追究する自己課題を設定している。			
3 2 0 (本時5)	・職場調べをもとに、自己課題に対する仮説を立てる ・仮説から質問を考える(本時) ・当日の行動計画を立てる 【情報の収集】	計画・実行 自己課題に対し、課題を解決するための計画を立て、それを見直しながら実行している。			
2 1 5 2 6	・職場体験を通じて、自己課題解決のための情報収集を行う 【情報の収集】	他者理解・協同 仲間と協同しながら、職場体験学習を進め、体験先への相手意識をもち、自分の考えを表現している。			
2 7 5 3 2	・個人レポートを作成する ・全体でレポート発表会を行う 【整理・分析】 【まとめ・表現】	表現 調査した内容をもとに、「働くということ」について、自分の将来の見通しを持ちながら表現している。 将来展望 職場体験学習について、自己課題に対する自己評価を行い、成果が結論付けられている。			